

磐城日報

平市白鷹町十
電話(024) 36-1111
編集發行人後藤幸夫
印刷人丸山徳平
毎週水曜日休刊
1ヶ月30日
一部一回
購讀料

力士 漁業、巻網に押さる 出漁費がせい一ぱい

船主は青息吐息

各漁の大型船一本ツリかつ十日から十五日間も要する。お漁は八月末で全く終了したが小名浜町かつお、まぐろ漁協組の調査によると六月がら八月末まで三ヶ月間の漁期、中同町かつお、まぐろ船十三隻のうち七回航を支拂うと航海費を支出するのがせい一ぱい。一方水揚げ價月末までに約二億八千万円は貰り立平二百圓程度。これは沿岸の巻網漁に押されたためと見られ、小名、江名の平均收入は三百万圓前後最高で総漁獲高三十万貫。と見られているところがと豫想されている。

眞症悪疫百名を突破

死亡率は三割強

保健所管内の本年一月以降九月九日現在の眞症赤痢全二の順となつて、患者は百六名に及びうち三十六名が病床に伏せつてゐるが、これを町村別にて、平市二十一名死亡二名では高久を始めわづか十の一つを占め、つい村を數えるだけで、他は二で錦町十四全三、小名浜十三名前後が発生していると

呼吸内科

平市古賀町藤電
カズマ(024) 36-1111

金をねきとりカバンだけをドボの中に捨て逃走した旨自供しており平公安局では(7時より)懸賞素人のど自慢大會それ親達の出頭を命じ

飯野八幡神社大祭

平市鎮座

前日のいづみや玩具店からおもちゃの連發銃二個を窃取、更に村松は七日午後六時ごろ湯本町の某キヤンデー賣子の賣上金入りのチャック付のカバンを盗み、現

完備と大森醫師の献身的な努力もさることながら一般あつたが、水戸公安局で調査中に治療されたことも見逃せぬ事實である、これに

反し四倉町では七十一ペ

セントといふ高い死亡率つ

ころが治癒状況では、平市

開業醫の早期発見により經

べたところ大平、村松の兩

症中に治療されたことも見

少年は七日午前十時ごろ平

日下取調べ中

反し四倉町では七十一ペ

セントといふ高い死亡率つ

ころが治癒状況では、平市

開業醫の早期発見により經

べたところ大平、村松の兩

症中に治療されたことも見

少年は七日午前十時ごろ平

日下取調べ中

金をねきとりカバンだけを

ドボの中に捨て逃走した旨

自供しており平公安局では(7時より)懸賞素人のど自慢大會

それ親達の出頭を命じ

賣子の賣上金入りのチャ

ック付のカバンを盗み、現

金をねきとりカバンだけを

ドボの中に捨て逃走した旨

自供しており平公安局では(7時より)懸賞素人のど自慢大會

それ親達の出頭を命じ

◇：水戸市袴塚永山きみえ
（之は妹と二人で先月二
十八日益興行の芝居を見
に行き旅役者とふざけて
いたところを妹から母親
につげ口されきついおシ
カリを受けたがその晩旅
役と手をとり合つて「流
れの旅路」に乗り出し行
方をくらました、青くな
つた父の昇さんは水戸市
署に訴え、十六娘の行方
をさがして、いたが去る五
日市署では旅役者福島縣
生れの小瀧清次（三）をつ
かまえ、きみえさんも無
事歸宅したが、きみえさ
んは妹のようく可愛がら
れ珍らしいものを澤山見
て來たよとケロリ顔
◇：（宮城）石巻市では先日
の圖書館員殺害事件以來
市民は憤病風に吹かれ官
廳や團体はドロボー除け
にあの手この手を考案
し、石巻協組では兩隣りに
通する非常ベルを設置、
宿直員がイザ鎗倉の際に
石巻郵便局ではサイレン
を新設、重大事を發
見した場合は吹き鳴らし
て職員や警察に知らせる
という仕組、七十七銀行
支店では警察との直通電
話で設けようかと話を持
ち上つているが一方ではセ
パート犬一頭を飼えれば
万全だと甲論乙駁の騒ぎ
と町議員陳情止に
縣大和郡來町の勿
に縣立公園提出方を
縣立公園の語ると
縣境まで何の
折角の名前
の儘放任の出
きぬと海
絶景と海
當然縣立
會合會
談會
振興懇談
視聽覺園
威者約二時
から地
課上谷氏

<p>レコードを聞きながら 一杯の冷ビールの 味は又格別です くれない</p> <p>スタンド 紅電 886 世界館前</p>	<p>株式賣買の御用は 平和證券 KK 白銀町二 電話 1190 884</p>	<p>呼吸器病 心臓病等には 腎臓病 薬品と塗料各種 阿部藥舗 平市銀座通り</p>	<p>▼自慢とんかつ 平五丁目 吉田屋支店 電 220 揚出し天ぷら</p>
---	--	--	--